

Osaka Shion Wind Orchestra 第156回定期演奏会

ダグラス・ボストックとの歩みは今年も続きます。今回のプログラムは邦人作品のラインナップで、いずれもボストックと日本を繋ぐ大切なレパートリーと作曲家たちが並び、どれをとっても素晴らしい作品です。前半は日本の吹奏楽レパートリーにおける金字塔の2作「シンフォニックバンドのためのパッサカリア」と「吹奏楽のための木挽歌」、「台湾狂詩曲」は、2024年度の改訂版として日本初演でお送りいたします。後半はボストックが敬愛する作曲家の一人、松下功作曲の、和太鼓と吹奏楽のための「飛天3部作」を、氏の盟友であり、和太鼓ソリストとしてのバイオニアである林英哲とともにお届けいたします。飛天3部作のうち、第2曲「飛天の祈り」、第3曲「飛天の舞」はボストックが初演の指揮を務め、自身にとっても重要なレパートリーとして取り上げてきた作品です。松下功は2018年に残念ながら早逝されてしまいましたが、生前より親交が深く、作曲作品にも精通しているボストックと林英哲、そしてShionが融合し、圧倒的な臨場感でホールを揺るがすことでしょう。



©Peter Adamik

©Julia Lebedeva



©飯島隆

人の轍、伝承と新たな高み

Program

- ◇ シンフォニック・バンドのためのパッサカリア (兼田 敏)
- ◇ 吹奏楽のための木挽歌 (小山 清茂)
- ◇ 吹奏楽のための「台湾狂詩曲」(2024年改訂版) (伊藤 康英)
- ◇ 飛天三部作 (松下 功) ・飛天の舞 ・飛天の祈り ・飛天遊

指揮 **ダグラス ボストック Douglas Bostock**

イギリス出身の指揮者。国際的に高く評価されている南西ドイツ室内管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督を2019年から務めている。スイスのアルガウ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者(2001年~19年)を経て現在は名誉指揮者、スイスのハルウィル・オペラ音楽祭の音楽監督(2003年~18年)の重責を担ってきた。欧州、米国、日本などで幅広く活躍しており、2000年から10年間にわたり東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者、首席客演指揮者を務め、2005年と2010年に同楽団の欧州公演を成功に導いた。その他、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団の音楽監督(1979年~1993年)、チェコのカールスパッド交響楽団の音楽監督及び常任指揮者(1991年~98年)、ミュンヘン交響楽団の首席客演指揮者(1999年~2006年)として活躍した。

今までに日本では、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、札幌交響楽団など日本を代表するオーケストラへ定期的に客演。海外においてもロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ放送交響楽団、ブラハ交響楽団、オーフス交響楽団、カンザスシティ交響楽団、メキシコ交響楽団、カルガリー・フィルハーモニー管弦楽団など国内外の主要なオーケストラに客演。BBCプロムス、ブラハの春音楽祭、サントリーホール、ウィーン・コンツェルトハウス、ロイヤル・フェスティバル・ホール、ベルリン・コンツェルトハウス、チューリッヒ・トーンハレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスなど国際的に有名な音楽祭やホールに出演している。

(<https://www.douglasbostock.net/profile-jp>)

和太鼓 **林 英哲 Eitetsu Hayashi**

太鼓集団「佐渡・鬼太鼓屋」、「鼓童」の創設に参加し11年活動した後、1982年にソロ活動を開始。初の和太鼓ソリストとして、太鼓の独奏法や舞台作品の創作や演出、前例のない「太鼓音楽」の表現を築き、国内外で活躍。カーネギーホール出演やベルリン・フィルと共演し、バリの「ジャボニスム2018」ではチケット即完で大成功した。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催「東京2020 NIPPONフェスティバル」の公式映像で音楽を担当し、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」でのソリスト参加や、藤倉大らの現代曲の初演も行う。2021年に演奏活動50周年、翌22年に独奏40周年を迎えた。2022年福岡アジア文化賞大賞を受賞。

(<http://www.eitetsu.net/>)

吹奏楽 **オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ Osaka Shion Wind Orchestra**

1923年(大正12年)に誕生以来「Shion(シオン)」の愛称で親しまれている交響吹奏楽団。2015年3月に「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra」と改称。クラシックからポピュラーまで誰もが楽しめるコンサートを展開し、各都市での演奏会や吹奏楽講習会、CD録音など、幅広い活動を通して音楽文化の向上と発展のために力を注いでいる。これまでに3度の大阪文化祭賞、日本民間放送連盟賞、日本吹奏楽アカデミー賞演奏部門賞、大阪芸術賞、なにわ大賞を受賞。現在、音楽監督に菅川彬良、芸術顧問に秋山和慶が就任している。

TICKET INFORMATION

チケット発売日: 2024年5月7日(火)

S 席 6,000円 B 席 4,000円
A 席 5,000円 C 席 2,500円
(全席指定・消費税込) 学生価格 3,000円
※当日券は各席種500円増しとなります。

※C席はShionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売となります。※学生価格はS席・A席・B席一律、Shionチケットセンターのみでの販売となります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により、出演者、曲目などに変更がある場合があります。予めご了承ください。

[Shionチケットセンター] フリーコール:0800-919-5508(土・日・祝を除く10:00~17:30)

[Shionオンラインチケット] <https://shion.jp/ticket/>

[チケットぴあ] <https://t.pia.jp> (Pコード) 261-321

[ローソンチケット] <https://t-tike.com> (Lコード) 53342

[イープラス] <https://eplus.jp>

[ザ・シンフォニー チケットセンター] TEL:06-6453-2333 (定休日:火曜日)

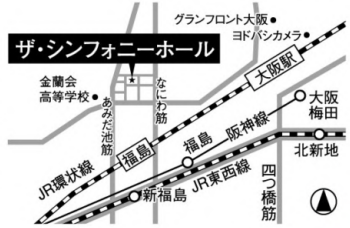


Shion
オンライン
チケット▶

The Symphony Hall ザ・シンフォニーホール

大阪市北区大淀南2丁目3-3 TEL:06-6453-1010

※駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
※路上駐車は近隣の方へのご迷惑となりますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。



〔主催・お問い合わせ〕公益社団法人 大阪市音楽団

大阪市住之江区緑木1-4-138

フリーコール:0800-919-5508(土・日・祝を除く10:00~17:30)

<https://shion.jp>

